

侍従補任稿

大宝元年〜仁和三年

笠井純 一

はじめに

『本朝書籍目録』には公卿・弁官・外記などの補任とならんで、「侍従補任」の書名が記される。一方内閣文庫には「侍従補任」なる写本一冊が蔵されている(函号・一四七―七二)。しかしこれは、その巻頭に「五位藏人」とみえる通り、寛平五年(八九三)から享保三年(一七一八)までの、侍従にして五位藏人(もしくは藏人頭)となつた十六名の官人を列記したもので、鎌倉後期の「侍従補任」とは全く趣が異なっている。けれどもその記事には「尻付」が付されるなど、『公卿補任』と類似した書式も認められるので、中世以来の「侍従補任」が江戸期まで書き継がれ、そこから必要記事のみを抜出したものかもしれない。なお、『日本古文書学提要』下巻付録の「主要補任一覧」によれば、東山御文庫にも同名の書が架蔵される由である。編者は未見であるが、恐らく内閣文庫本と同類の写本であらう。

いずれにしても「侍従補任」は、完全な形では今日に伝えられていない。しかし侍従は、恐らくは大宝令で制定されて以来、「常侍規

諫、拾遺補闕」等の職務を有し、少なくとも藏人所設置までは、天皇御近として特に要重の官であつた。定員八員のうち、三人は少納言の兼官であり、相当位は従五位下だがしばしば高位のものも任命され、公卿が兼任することすらあつた。ことに大同二年、複数の公卿が一時にこの官を兼ねたことは、政治史的にも注目すべき事実である。このことはすでに、望月一樹「平城朝における侍従任命について―大同二年八月十四日任命を中心に―」(『駒沢史学』三六号)などに詳しい。

編者は大同期官職制度の考察をすすめるなかで、侍従の補任状況を精査する必要を感じたので、『続日本紀』等代表的な文献から、折々に任官者を抜出して本稿を作成した。もとより不十分な調査に基づく粗稿であるので、諸賢の御批正を待つて補充したいと考えている(なお侍従任官者については、成瀬高明「侍従・次侍従考―奈良朝を中心として―」『椋山女学園大学研究論集』一五号、および前掲望月論文に一覧表が掲げられる。前者は延暦十年以前、後者は大同四年以前の分が収録されており、有益である)。

凡 例

- 一 本稿は大宝元年(七〇一)から仁和三年(八八七)に至る侍從任官者を、諸史料から検出し、年次をおって排列したものである。
- 一 各年次ごとに、上段に検出された官人の帯位・氏名を掲げ、下段にはそれぞれの出典・所在およびその記事の一部を付した。
- 一 同一年次中では、侍從任官者を帯位の高低に従って排列した。当該年中に官位の昇叙があった場合は、新官位を示した。
- 一 公卿にして侍從に任じた者には、氏名に※印を付した。
- 一 出典・所在は()の中に示した。頻出する出典は、通例に従い略記した場合がある(例、後紀Ⅱ『日本後紀』、公Ⅱ『公卿補任』、平Ⅱ『平安遺文』)。
- 一 出典記事のテキストは、『六国史』『類聚国史』『日本紀略』『公卿補任』『尊卑分脈』等は新訂増補国史大系本、金石文は『古京遺文』、『家伝』は『寧楽遺文』、正倉院文書等は『大日本古文書』を用いた。なおアラビア数次を○で囲んだものは、『大日本古文書』編年文書の巻数である。
- 一 出典の記事はなるべく正確な引用に努めたが、記事の性格上一部を略した場合もある。
- 一 特に註記を要するものは、○で示した。
- 一 その他、適宜類推されたい。

◆大宝元年

從五位下 威奈大村 (威奈真人大村集志) 以大宝元年律令初定更授從五位

下仍兼侍從

◆和銅元年

從五位下 藤原武智麿 (家伝下) 和銅元年三月。遷図書頭兼侍從。

◆養老五年

從五位上 石川君子 (統紀) 六月辛丑。從五位上石川朝臣君子為侍從。

◇養老七年

從四位下 三島王 (尊卑分脈二編四一七頁) (藤原三岡) 母侍從從四下

三島生女從五位下山慢女王

◎頭註に「生、恐當作王」とある。なお侍從任官時

点は不明だが、『統紀』によってしばらく、從四位

下叙位(養老七年正月)の年次に置いた。

◆天平初年

正四位上 六人部王 (家伝下) (神亀) 五年六月。遷大納言。……其間

正四位下 長田王 參議高卿。有中納言丹比景守。三弟式部卿宇合。四

從四位下 門部王 弟兵部卿麻呂。大藏卿鈴鹿王。左大弁葛木王。風流

從四位下カ 狹井王 侍從。有六人部王・長田王・門部王・狹井王・桜井

從四位下カ 桜井王 王・石川朝臣君子・阿部朝臣安麻呂。置始工等十余

從四位下 石川君子 人

從四位下 阿部安磨

置始 工

◎右七人の官位は、成瀬論文によつて補つた。

◇天平三年

從三位 ※藤原麻呂

(公)宇合同日任。兵部卿如元。歴左京大夫。侍從。十一月日兼山陰道鎮撫使。

◇天平八年

從三位 ※橘 諸兄

(公・天平八年尻付)十一月十七日從三位行左大弁兼侍從左右馬内匠催造監葛城王從四位上佐為王等上表。請賜橘宿祢之姓云々。

◇天平九年

正四位上 橘 佐為

(公・延暦九年藤原雄友尻付)母正四位上侍從中宮大夫兼右衛門督橘朝臣佐為四女。尚藏三位麻通我朝臣。

◎橘佐為は天平九年二月正四位下に昇叙され、同年八月、中宮大夫兼右兵衛督正四位下で卒した。すなわち、佐為が右の如き官位を帶た時点は現実にはなかったと思われるが、しばらく此処に置くこととした。

◇天平十七年

從四位下 佐伯淨萬侶

(天平十七年三月廿一日丹斐文書⑤八二)從四位下左衛士府督兼山背守侍從佐伯宿祢「淨萬侶」。

◇天平廿年

從五位下 藤原魚名

(公・神護景雲二年尻付)天平廿年二月一日(七一)(十九統紀)授從五位下。補侍從。(統紀・延暦二年七月庚子条)天平末。授從五位下。補侍從。

◆天平勝宝元年

從四位上 ※橘奈良麻呂

(統紀)閏五月甲午朔。從四位上橘宿祢奈良麻呂……並為侍從。

(公・天平廿一年尻付、同年註記)天平勝宝元年四月從四上。閏五月侍從。

(異本公・天平宝字元年尻付)天平勝宝元一四月叙從四位上閏五月為侍從

從五位上 阿倍鳴麻呂

(統紀)閏五月甲午朔。……從五位上阿倍朝臣鳴麻呂並為侍從。

從五位下 藤原繩麻呂

(統紀)八月辛未。從五位下藤原朝臣繩麻呂為侍從。

從五位下 藤原魚名

(統紀)十一月甲寅。遣……侍從從五位下藤原朝臣魚名等。以為迎神使。

(公・天平廿一年頭書)(十一月)甲寅。遣……侍從從五下藤原朝臣魚名等。為迎神之使云々。

侍從補任稿 (笠井純一)

◇天平勝宝二年

從五位上 安倍鳴麻呂 (天平勝宝二年二月廿六日太政官符②) 從五位上守
右中弁兼侍從勳十二等安倍朝臣「鳴麻呂」

◇天平勝宝七歲

從三位 ※藤原永手
(天平勝宝七歲十二月廿八日孝謙天皇東大寺領施入
勅④八四) 從三位行左京大夫兼侍從大倭守藤原朝臣
「永手」

◇天平勝宝八歲

從三位 ※藤原永手
(天平勝宝八歲六月十二日孝謙天皇東大寺宮宅田園
施入勅④一一九、同年六月廿一日東大寺獻物帳④一
七一、同年同月同日奉獻舍那仏種々藥帳④一七五)
從三位行左京大夫兼侍從大倭守藤原朝臣「永手」
(天平勝宝八歲七月八日法隆寺獻物帳④一七七、同年
七月廿六日東大寺獻物帳④一七九) 從三位行中務卿
兼左京大夫侍從藤原朝臣「永手」
從四位下 巨勢堺麻呂 (天平勝宝八歲七月廿六日東大寺獻物帳④一七九) 從
四位下守右大弁兼紫微少弼春宮大夫行侍從勳十二
等巨勢朝臣「堺麻呂」

◆天平宝字元年

從五位下 藤原繩麻呂 (統紀) 六月癸巳。以兵部少輔從五位下藤原朝臣繩麻
呂為兼侍從。

◇天平宝字二年

從三位 ※巨勢闕麻呂 (統紀) 八月甲子。參議從三位紫微大弼兼兵部卿侍從
下總守巨勢朝臣闕麻呂……等。奉勅改易官号。
(天平宝字二年八月廿五日太政官奏④一九三) 參議從
三位行紫微大弼兼兵部卿侍從下總守巨勢朝臣麻呂
(天平宝字二年十月一日東大寺獻物帳④三三七) 參議
從三位行武部卿兼坤宮官大弼侍從下總守巨勢朝臣
闕麻呂

◇天平宝字五年頃

從三位 ※藤原御楯
(神祇大輔中臣毛人等百七人歷名⑤一三〇) 侍從藤原
御楯
◎御楯は宝字五年八月正四位上、同年十月從三位に
叙され、同八年六月授刀督兼伊賀近江按察使、從
三位で薨じた(統紀)。右歴名の年代は不明だが、
ひとまず『大日本古文书』に従って宝字五年にお
き、從三位と表記した。

◇天平宝字七年

從五位上 石上宅嗣 (統紀) 正月壬子。從五位上石上朝臣宅嗣為文部大輔。
侍從如故。
從五位上 藤原綱麻呂 (統紀) 正月壬子。從五位上藤原朝臣綱麻呂為礼部大輔。
侍從如故。

◇天平宝字八年

正五位上 淡海三船

〔統紀〕延暦四年七月庚戌条（惠美仲麻呂乱以功授正五位上勲三等除近江介。遷中務大輔兼侍從。尋補東山道巡察使。

◆天平神護元年

從四位下※藤原繩麻呂（公）正月勲二（三統紀）等。兼勅旨卿侍從。

◇天平神護二年

正四位下※藤原繩麻呂（統紀）三月丁卯。大納言正三位藤原朝臣真楯覺。……

使民部卿正四位下兼勅旨大輔侍從勲三等藤原朝臣繩麻呂……申之。

〔統紀〕三月辛巳。參議民部卿正四位下勅旨大輔侍從藤原朝臣繩麻呂為兼近江守。

正五位下 藤原雄田麻呂（公・宝元二年尻付）天平神護二年九月正五下。為山陽道巡察使。後為左中弁。兼侍從内匠頭。

◆神護景雲元年

從四位下 阿倍息道（統紀）三月己巳。從四位下阿倍朝臣息道為中務大輔。侍從如故。

正五位上 淡海三船（統紀）六月癸未。東山道巡察使正五位上行兵部大輔兼侍從勲三等淡海真人三船。……宜解見任用懲將來。

正五位下 藤原雄田麻呂〔統紀〕二月戊申。左中弁侍從内匠頭武藏介正五位下藤原朝臣雄田麻呂為兼右兵衛督。

從五位上 奈貴王〔統紀〕二月戊申。從五位上奈貴王為大膳大夫。侍從正親正如故。

◇神護景雲二年

從三位 ※藤原繩麻呂〔統紀〕二月癸巳。從三位藤原朝臣繩麻呂為近江按察使。民部卿勅旨大輔侍從如故。

從四位上 藤原是公〔統紀〕十一月癸未。從四位上藤原朝臣是公為侍從兼内藏頭。

〔公・宝元五年尻付〕神護景雲二年十一月癸未兼侍從内藏頭。〔統紀〕十二月癸丑。從四位上内藏頭侍從藤原朝臣是公為兼下總守。

從五位上 藤原家依〔統紀〕二月癸巳。從五位上藤原朝臣家依為侍從。……從五位下藤原朝臣家依為式部少輔。侍從如故。

〔公・宝元八年尻付〕神護景雲二年二月補侍從。任式部少輔。

從五位上 船井王〔統紀〕閏六月乙巳。從五位上船井王為侍從。

◇神護景雲三年

正五位下 藤原家依〔公・宝元八年尻付〕三年二月正五下。八月兼大和守（少輔侍從如元）。

◆宝亀元年 山部王 (統紀)八月丁巳。授大學頭諱從四位下。……從四位下諱為侍從。

◇宝亀五年 正四位下※藤原是公 (公・宝亀五年尻付) 宝亀五年正月七日正四位下。三月甲辰兼春宮大夫。式部大輔。侍從如元。

(公・宝亀五年註記) 五月五日任(參議)。春宮大夫侍從左衛士督式部大輔等如元。

◇宝亀八年 正四位上※藤原是公 (統紀)十月辛卯。參議正四位上藤原朝臣是公為左大弁。春宮大夫左衛士督侍從如故。

(公・宝亀八年註記) 春宮大夫。正月丁巳正四位上。左衛士督。十月兼左大弁。侍從。

◇宝龜九年 正四位上※藤原是公 (公・宝亀九年註記) 左大弁。春宮大夫。左衛士督侍從。

從四位下 奈貴王 (統紀)二月乙酉。侍從々四位下奈貴王卒。
從四位下 藤原雄依 (統紀)二月乙未。從四位下藤原朝臣雄依為侍從。讚岐守如故。

◇宝亀十年 從三位 ※藤原繩麻呂 (統紀)九月庚午。中納言從三位藤原朝臣繩麻呂為兼中衛大將。勅旨卿侍從如故。

從三位 ※藤原是公 (公・宝亀十年註記) 式部大輔。正月七日從三位。遷式部卿。止左大弁。春宮大夫左衛士督侍從如元。

從四位下 藤原雄依 (統紀)九月甲午。以從四位下藤原朝臣雄依為式部員外大輔。侍從讚岐守如故。

從五位下 石川彌奈支麻呂 (統紀)九月庚午。侍從々五位下石川朝臣彌奈支麻呂為右兵衛佐。

◇宝亀十一年 從三位 ※藤原是公 (公・宝亀十一年註記) 左大弁。春宮大夫。左衛士督式部卿。侍從。

◆天応元年 從三位 ※藤原浜成 (統紀)六月癸卯。降大宰帥從三位藤原朝臣浜成為員外帥。……帥參議從三位兼侍從藤原朝臣浜成。所經之職。善政無聞。

從三位 ※藤原家依 (統紀)五月癸未。兵部卿正四位上藤原朝臣家依為兼下總守。侍從如故。
(統紀)七月丁卯。正四位上藤原朝臣家依為兵部卿。侍從下總守如故。

從四位下 五百枝王

〔公・宝亀十二年註記〕治部卿。五月兼下總守。七月任兵部卿。兼侍從(守如故)。十一月十一日從三位。〔正介院御物出納文牘 五 東大寺使解(付) 一五〕檢校使參議正四位上兵部卿侍從藤原朝臣家依。○右文牘は延曆六年六月廿六日の日付を有するが、右檢校使の年代は家依の官位から天応元年のものかと判断した。

◆延曆元年

從三位 ※藤原浜成

〔統紀〕閏正月辛丑。員外帥藤原朝臣浜成之女為川繼妻。……解却浜成所帶參議并侍從。但員外帥如故。〔公・宝亀十二年註記〕或云延曆元年閏正辛丑解三木侍從等(帥如元)。

從三位 ※藤原家依

〔公・天應二年註記〕兵部卿。侍從。下總守。

正四位下 藤原騰取

〔統紀〕五月己亥。正四位下藤原朝臣騰取為中宮大夫。侍從越前守如故。

從四位下 五百枝王

〔統紀〕閏正月庚子。侍從從四位下五百枝王為兼美作守。

〔統紀〕六月辛未。侍從々々四位下五百枝王為兼越前守。〔統紀〕六月壬申。從四位下五百枝王為右兵衛督。侍從越前守如故。

◇延曆二年

從三位 ※藤原家依

〔公・延曆二年註記〕兵部卿。侍從。下總守。

◇延曆三年

從三位 ※藤原家依

〔公・延曆三年註記〕兵部卿。侍從。下總守。

從五位下 藤原乙叡

〔統紀〕七月壬午。從五位下藤原朝臣乙叡為侍從。

◇延曆四年

從三位 ※藤原家依

〔統紀〕六月癸未。參議兵部卿從三位兼侍從下總守藤原朝臣家依薨。贈太政大臣正一位永手之第一子也。

從五位下 藤原弟友

〔統紀〕正月辛亥。以從五位下藤原朝臣弟友為侍從。

◇延曆九年

正五位下 藤原乙叡

〔統紀〕三月丙午。大藏大輔正五位下藤原朝臣乙叡為兼信濃守。侍從如故。

從五位下 藤原弟友

〔統紀〕三月壬戌。正五位下藤原朝臣乙叡為(兵部)大輔。侍從信濃守如故。

從五位下 藤原弟友

〔公・延曆十三年尻付〕(延曆九年三月)壬戌。兵部大輔。兼衛門督(侍從守如故)。

從五位下 藤原弟友

〔統紀〕三月壬戌。從五位下藤原朝臣弟友為侍從。……從五位下藤原朝臣弟友為宮内少輔。侍從如故。

◇延曆十年

從五位下 藤原弟友

(統紀)正月己丑。從五位下藤原朝臣弟友為大判事。侍從如故。

從五位下 大庭王

(統紀)正月己丑。以從五位下大庭王為侍從。

從五位下 藤原緒嗣

(統紀)四月己酉。以從五位下藤原朝臣緒繼為侍從。

(公・延曆二十一年尻付)(延曆)十年四月侍從。

(續後紀)承和十年七月庚戌。十年春授從五位下(時年十八)補侍從中衛少將。

◇延曆十一年

從五位下 藤原乙叡

(公・延曆十三年尻付)(延曆)十年十月十日丁酉從四下。十一年四月乙巳右兵衛督(兵部大輔侍從如元)。

◇延曆十三年

從五位下 秋篠安人

(類史一四七國史)八月癸丑。(統紀撰考)……少納言從五位下兼侍從守右兵衛佐行丹波介秋篠朝臣安人。

◇延曆十四年

從四位下 藤原乙叡

(公・延曆十四年註記)左京大夫。二月庚午兼侍從山城守。同月丁巳兼主馬首(大夫守如故)。

◇延曆十五年

從五位下 藤原繼業

(續後紀)承和九年七月丁酉。延曆十五年。擢自內舍人。叙從五位下。為侍從。兼常陸介。

◇延曆十六年

從五位下 大庭王

(後紀)二月辛未。侍從從五位下大庭王為兼左大舍人頭。讚岐守如故。

從五位下 広庭王

(後紀)二月辛未。從五位下広庭王為侍從兼河內守。

◇延曆十八年

從四位下 中臣王

(後紀)六月己丑。侍從從四位下中臣王為兼左大舍人頭。

從五位上 藤原繼業

(後紀)九月甲辰。齋內親王發野宮赴伊勢。遣侍從々四位下中臣王……侍從信濃介如故。

◇延曆二十三年

從四位下 葛野王

(後紀)四月壬子。侍從從四位下葛野王為兼主馬頭。

◆大同元年

從四位下 大庭王

(後紀)正月癸巳。侍從從四位下大庭王為兼上野守。

從四位下 中臣王

(後紀)四月甲午朔……誅……侍從從四位下大庭王。(後紀)四月甲午朔……誅……侍從從四位下中臣王。

正五位下 藤原嗣業

〔後紀〕四月丁未。正五位下行侍從左兵衛佐藤原朝臣嗣業等。返上先帝所賜別勅封三百戶。

正五位上 三諸綿麻呂

〔後紀〕五月甲子朔。正五位上三諸朝臣綿麻呂為侍從。播磨守如故。

◇大同二年

正三位 ※藤原内麻呂

〔公・大同二年註記〕八月十四日兼侍從〔不見國史云々〕。

◎『公卿補任』延曆二十五年条の藤原内麻呂註記に、「八月十四日兼侍從〔勳國史。此日無除目。廿日有除目歟。而不任侍從〕とあるが、本稿では大同二年の誤りとみなした。

從三位 ※坂上田村麻呂

〔公・大同二年註記〕八月十四日兼侍從。十一月十六日兼兵部卿。大將軍等兼官如元。

從四位上 ※藤原緒嗣

〔公・大同二年註記〕八月兼侍從。十一月十六日左大弁。觀察使右衛門督如元。十九日辞弁不許。

從四位上 ※秋篠安人

〔公・大同二年註記〕八月十四日兼侍從。十一月十四日〔十一イ〕日坐伊與親王事左遷造西寺長官。他官皆停〔左大弁。近衛中將。春宮大夫〕。

從四位下 巨勢野足

〔公・大同五年尻付〕〔延曆〕廿一―從四下。……〔大同〕二年八月十四日兼侍從。

從四位下 中臣王

〔後紀・大同四年閏二月甲辰条〕侍從中臣王連伊予親王之事。經拷不服。時嬖臣激帝令加大杖。王背崩爛而死。

侍從補任稿

〔笠井純一〕

◇大同三年

從四位下 藤原繼業

〔後紀〕十一月甲辰。從四位下藤原朝臣繼業為左京大夫兼大和守。侍從如故。

從五位下 藤原世繼

〔後紀〕五月壬寅。侍從從五位下藤原朝臣世繼為兼宮内卿。

◇大同四年

正四位下 ※藤原緒嗣

〔公・大同四年註記〕侍從。衛門督。陸奥出羽按察使。刑部卿。四月止使歟。三月辞見内裏。召昇殿上。給衣服。

從五位下 藤原冬嗣

〔後紀〕正月癸巳。春宮亮從五位下藤原朝臣冬嗣為兼侍從。

從五位下 安倍真直

〔後紀〕二月己未。從五位下藤原朝臣冬嗣為右少弁。侍從春宮亮如故。

從五位下 藤原綱繼

〔公・天長二尻付〕〔延曆〕廿二正七從五下。……〔大同〕四十一〔庚午 逸史〕侍從。

◎伊予親王事件發覺は大同二年。位階は前年の記事に依った。

◆弘仁元年

正三位 ※坂上田村麻呂

(公・大同五年註記・大納言) 勲二等。九月十日任。兵部卿侍從右大將如元。

(公・大同五年註記・中納言) 勲二等。右大將。兵部卿。侍從。征夷大將軍。九月十九日任大納言。

正四位下 ※藤原緒嗣

(公・大同五年註記) (九月) 廿七(廿六)日。遷右衛士督。停陸奥出羽按察使。兼近江美乃守侍從。

從四位上 藤原繼業

(後紀) 十月己巳。侍從從四位上藤原朝臣繼業為兵部大輔。近江守如故。

從四位下 藤原冬嗣

(公・弘仁二尻付) (大同四年四月) 十四日從四下。……(五年) 二月兼右少弁(亮)侍從如元。大舍人頭督如元。

從四位下 大庭王

(後紀) 九月甲寅。侍從從四位下大庭王為兼大舍人頭。

◇弘仁二年

從四位上 藤原繼業

(後紀) 五月丁未。從四位上藤原朝臣繼業為神祇伯。侍從近江守如故。

從五位下 藤原世嗣

(後紀) 七月乙卯。侍從從五位下藤原朝臣世嗣為兼右少弁。

◇弘仁三年

從五位下 藤原清本

(後紀) 八月戊子。從五位下藤原朝臣清本為侍從。

◇弘仁四年

從四位下 平野王

(後紀) 正月甲子。侍從從四位下平野王為兼出雲前守。

從五位上 藤原世嗣

(後紀) 正月甲子。侍從從五位上藤原朝臣世嗣為兼下總介。

從五位下 藤原淨本

(平八―四三八四、弘仁四年二月九日正倉院御物出納注文) 侍從從五位下藤原朝臣「淨本」

◇弘仁五年

從五位下 藤原文山

(後紀) 七月乙卯。從五位下藤原朝臣文山為侍從。

從五位下 藤原淨本

(平八―四三九三・四、弘仁五年六月十七日正倉院御物出納注文) 侍從從五位下藤原朝臣「淨本」

(正倉院御物出納文書 一雙介北雜物出入繼文(付) 七) 侍從從五位下藤原朝臣「淨本」

◎右位署のある繼文は年代不詳だが、使官三名の組み合わせから、当該年月の出納使と推定した。

(平八―四三九三・四、弘仁五年七月廿九日正倉院御物出納注文) 侍從從五位下藤原朝臣「淨本」

(平八―四三九三・四、弘仁五年九月十七日正倉院御物出納注文) 從五位下侍從藤原朝臣「淨本」

◇弘仁六年

從五位下 藤原實祐麻呂

(後紀) 三月甲申。從五位下藤原朝臣實祐麻呂為侍從。武藏介如故。

◇弘仁十三年

從四位下 藤原浜主

〔統後紀・承和十二年正月辛亥条〕弘仁元年十一月叙從五位下。累加至正五位下。補侍從。尋叙從四位下。拜神祇伯。

◎『類聚国史』卷九九叙位によれば、藤原浜主が正五位下に叙されたのは弘仁十三年正月己亥。從四位下昇叙は同年十一月丁未朔のことである。

◇弘仁十四年

從四位下 恒世王

從四位下 高棟王

〔紀略〕四月壬寅。立侍從々四位下恒世王為皇太子。
〔公・承和十年尻付〕弘仁十四年九月丁卯侍從。
〔三実・貞觀九年五月十九日丁巳条〕弘仁十四年授從四位下。拜侍從。天長……二年賜姓平朝臣。

◆天長二年

從五位下 藤原長良

從五位下 豐江王

〔公・承和十一年尻付〕（天長二二）侍從（三十三）。
〔文実・齊衡三年七月癸卯条〕弘仁十三年為内舍人。
……天長元年二月叙從五位下。二年二月為侍從。
〔三実・貞觀五年七月十六日丙午条〕弘仁十三年正月授從五位下。天長二年秋拜少納言。兼侍從。

◇天長三年

從四位下 源 信

〔類史三三遊獵〕正月乙未。從四位下源朝臣信為侍從。
〔三実・貞觀十年閏十二月廿八日丁巳条〕（天長三年春除侍從。數月遷為治部卿。
〔公・天長八年尻付〕（天長）三三廿七（二一）侍從。

◇天長五年

從四位下 高枝王

〔類史二一祈禱〕八月丁丑。（宣命使）侍從從四位下高枝王。

◇天長八年

從四位下 正躬王

〔公・承和七年尻付〕天長六正七從四下。同八十一侍從。

◇天長十年

從四位下 正行王

〔文実・天安二年七月己巳条〕天長十年三月授從四位下。為侍從。時年十八。天皇甚龍遇之。

從五位上 藤原長良

〔統後紀〕二月丁亥。侍從從五位上藤原朝臣長良為左兵衛權佐。

◆承和元年

從五位下 清原秋雄

〔統後紀〕十一月乙丑。以從五位下清原真人秋雄為侍從。

侍從補任稿

(笠井純一)

一一一

〔三実・貞觀十六年四月廿四日壬子条〕承和元年夏四月。嵯峨太上天皇幸大臣雙岳山庄。歡賞之余。賜大臣男從五位下滝雄從四位下。沢雄。秋雄並從五位下。數月秋雄為侍從。四年十月父大臣薨。因而解官。

◇承和九年

從五位下 藤原春津

〔統後紀〕三月甲子。遣侍從正五位下藤原朝臣春津於鴻臚館……。

◇承和四年

從五位下 藤原仲縁

〔公・貞觀十四年尻付〕承和二(三イ)正七從五位下。同四十二侍從。

從五位下 橘 宗雄

〔統後紀〕八月壬申。從五位下橘朝臣宗雄。……並為侍從。

◇承和五年

從五位上 藤原春津

〔統後紀〕十一月甲辰。從五位上藤原朝臣春津為侍從。〔三実・貞觀元年七月十三日丙寅条〕承和元年遷為備中權守。久而為侍從。九年進正五位下。

從五位下 藤原平雄

〔統後紀〕八月壬申。……從五位下藤原朝臣平雄並為侍從。

從五位上 滋野貞雄

〔三実・貞觀元年十二月廿二日癸卯条〕承和五年改權為正。其年授從五位上。拜少納言。兼侍從。

從五位下 良岑長松

〔統後紀〕十一月戊戌。以從五位下良岑朝臣長松為侍從。云々。

◇承和六年

正四位下 源 融

〔統後紀〕閏正月乙酉。是日。以正四位下源朝臣融。……並為侍從。

◇承和十年

從五位下 在原行平

〔統後紀〕二月己巳。從五位下在原朝臣行平為侍從。〔公・貞觀十二年尻付〕(承和)二十侍從。

從四位下 正道王

〔公・嘉祥三年尻付〕(承和)六正二侍從。〔統後紀〕閏正月乙酉。是日。……從四位下正道王。並為侍從。

從五位下 橘 貞根

〔統後紀〕九月辛丑。從五位下橘朝臣貞根為侍從。〔三実・貞觀十五年八月廿八日庚申条〕(承和)十年拜中務少輔。頃之遷侍從。十一年加從五位上。嘉祥三年遷安芸守。不之任。

◇承和七年

◇承和十二年

從五位下 登美直名

〔三実・貞觀五年五月癸亥朔条〕(承和)十二年。法隆寺僧善愷告少納言兼侍從從五位下登美真人直名為寺檀越枉法状。

◇承和十三年

從五位下 藤原良方

〔統後紀〕正月乙卯。從五位下藤原朝臣良方。……並為侍從。

從五位下 源 興

〔統後紀〕正月乙卯。……從五位下源朝臣興並為侍從。
〔三実・貞觀十四年十一月十九日乙酉条〕(承和)十三年為侍從。嘉祥三年除左兵衛權佐。

從五位下 橘 伴雄

〔統後紀〕九月壬子。從五位下橘朝臣伴雄為侍從。

◆嘉祥元年

從五位下 橘 安吉雄

〔統後紀〕五月壬申。從五位下橘朝臣安吉雄為侍從。

◇嘉祥三年

從五位上 鳴江王

〔文実〕三月乙巳。侍從從五位上鳴江王……為玉皇寺使。

〔文実〕五月己卯。遣侍從從五位上鳴江王……向伊勢大神宮。迎齋内親王。

〔文実〕九月庚子。遣侍從從五位上鳴江王。向伊勢大神宮。

從五位下 源 愜

〔文実〕四月己酉。從五位下源朝臣愜。……等為侍從。

從五位下 橘 信蔭

〔文実〕四月己酉。……從五位下橘朝臣信蔭等為侍從。……侍從從五位下橘朝臣信蔭等。六位已下四人。為莊嚴堂司。

從五位下 藤原諸藤

〔文実〕五月甲午。從五位下藤原朝臣諸藤為侍從。
〔文実〕十月己酉。遣……侍從從五位下藤原朝臣諸葛向深草山陵。

◇仁壽元年

從五位下 橘 信蔭

〔文実〕二月丙辰。定先皇御忌齋會行事司。……從五位下……侍從橘朝臣信蔭……為莊嚴堂司。

◇仁壽二年

從五位下 藤原良繩

〔三実・貞觀十年二月十八日壬午条〕仁壽二年授從五位下。為侍從。

◇仁壽三年

從五位上 鳴江王

〔文実〕四月庚午。遣侍從從五位上鳴江王。……向伊勢大神宮。

〔文実〕四月乙酉。遣侍從從五位上鳴江王。……向(賀茂)社下。

從五位下 藤原良繩

〔文実〕七月庚寅朔。從五位下藤原朝臣良繩為侍從。内藏助如故。

〔公・天安二年尻付〕(仁壽三)同(七)月一日侍從(助如元)。

◆齊衡元年 藤原良繩

〔文実〕正月辛丑。從五位下……藤原朝臣良繩為播磨介。侍從内藏助如故。

〔文実〕八月庚辰。從五位下藤原朝臣良繩為春宮亮。侍從内藏助播磨介如故。

〔三実〕貞觀十年二月十八日壬午条。齊衡元年兼播磨介。俄而拜春宮亮。侍從。内藏助。播磨介並如故。

〔公・天安二年尻付〕齊衡元正十六兼播磨介（助侍從如元）。

從五位下 百濟教凝

從五位下 藤原基經

〔文実〕二月辛未。從五位下百濟王教凝為侍從。
〔文実〕十一月癸未。從五位下藤原朝臣基經為侍從。
〔公・貞觀六年尻付〕（仁壽四）十月十一日從五下。任侍從。十一月一日侍從。

◇齊衡二年

從四位下 輔世王

從五位下 源直

〔文実〕二月乙丑。從四位下輔世王為侍從。
〔文実〕八月己亥。從五位下源朝臣直為侍從。
〔公・仁和二年尻付〕齊衡二八廿三侍從。

◇齊衡三年

從四位下 輔世王

從五位下 源至

〔文実〕十一月辛酉。遣……侍從從四位下輔世王等。向後田原山陵。
〔文実〕七月癸丑。從五位下……源朝臣至為侍從。

◆天安元年

從五位上 紀有常

〔三実〕元慶元年正月廿三日乙未条。……尋授從五位上。……天安元年自左近衛少將。遷為伊勢權守。同年除少納言。兼侍從。明年遷肥後權守。

從五位下 源至

〔文実〕二月己丑。遣……侍從從五位下源朝臣至……等於諸山陵。

從五位下 紀好雄

〔文実〕六月丙寅朔。從五位下紀朝臣好雄為侍從。

從五位下 源穎

〔文実〕九月辛亥。從五位下橋朝臣休蔭為侍從。
〔文実〕十月辛卯。從五位下……源朝臣穎為侍從。

◇天安二年

從四位下 輔世王

從五位上 橘清蔭

從五位上 藤原基經

〔文実〕四月壬寅。遣（從四位下）侍從輔世王……等於諸大神社。
〔三実〕八月廿七日乙卯。……從五位上行少納言兼侍從橋朝臣清蔭。
〔三実〕八月廿七日乙卯。……左衛門佐從五位上兼行少納言侍從藤原朝臣基經。

〔三実〕九月十四日壬申。左衛門佐從五位上兼行少納言侍從藤原朝臣基經為左近衛權少將。少納言侍從如故。

〔三実〕十一月廿五日壬午。從五位上守左近衛權少將兼行少納言侍從藤原朝臣基經為播磨介。余官如故。

從五位上 藤原忠宗

〔三実〕九月廿三日辛巳。中務大輔從五位上藤原朝臣忠宗為侍從。

從五位下 伴 中庸
〔文実〕三月己巳。從五位下伴宿祢中庸為侍從。

從五位下 坂上岑雄
〔文実〕六月癸卯。從五位下坂上大宿祢岑雄為侍從。

從五位下 源 同
〔三実〕九月十四日壬申。散位從五位下源朝臣同為侍從。

從五位下 伴 中庸
〔三実〕九月十四日壬申。侍從從五位下伴宿祢中庸為右衛門佐。

從五位下 橘 休蔭
〔三実〕十一月廿五日壬午。以散位從五位下橘朝臣休蔭為侍從。

從五位下 源 至
〔三実〕十一月廿五日壬午。侍從從五位下源朝臣至為右兵衛佐。

◆貞觀元年

從四位下 利基王
〔三実〕正月十三日庚午。以散位從四位下利基王為侍從。

從四位下 輔世王
〔三実〕貞觀八年正月廿四日辛丑條。天安三年任侍從。

從四位下 源 同
〔三実〕正月十三日庚午。從四位下行侍從輔世王為但馬守。

從五位上 源 同
〔三実〕十一月十九日庚午。侍從源朝臣同。……並從五位上。

從五位下 良峯經世
〔三実〕七月十四日丁卯。少納言兼侍從從五位下良峯朝臣經世為杜本社使。

◇貞觀二年

正五位下 藤原基經
〔三実〕十一月十六日壬辰。從五位上守左近衛權少將兼行少納言侍從播磨介藤原朝臣基經正五位下。

從五位上 良岑經世
〔三実〕十一月十六日壬辰。少納言兼侍從良岑朝臣經世並從五位上。

◇貞觀三年

從四位下 藤原基經
〔三実〕三月八日壬午。授左近衛權少將正五位下兼行少納言侍從播磨介藤原朝臣基經從四位下。

從五位下 藤原水谷
〔三実〕二月廿五日己巳。齋院長官從五位下兼行主殿權助藤原朝臣水谷為侍從。余官如故。

◇貞觀四年

從五位上 藤原直道
〔三実〕正月七日丙子。少納言兼侍從藤原朝臣直道。……並從五位上。

從五位下 源 治
〔三実〕正月十三日壬午。散位從五位下源朝臣治為侍從。

從五位下 藤原忠宗
〔三実〕正月十三日壬午。侍從從五位下藤原朝臣忠宗為(阿波)介。

◇貞觀五年

從五位上 藤原直道
〔三実〕二月十日癸卯。從五位上行少納言兼侍從藤原朝臣直道為備前守。

從五位下 坂上岑雄
〔三実〕二月十日癸卯。侍從從五位下坂上大宿祢岑雄為(下野)介。

侍從補任稿 (笠井純一)

從五位下 藤原国経

(三実)二月十六日己酉。從五位下行播磨介藤原朝臣国経為侍從。播磨介如故。
(公・元慶六年尻付)(貞觀)五二十六兼侍從。

從五位下 藤原千乘

(三実)五月十六日丙申。……從五位下藤原朝臣千乘。並為侍從。

◇貞觀六年

從五位上 藤原諸葛

(三実)二月十六日癸酉。是日。勅遣……從五位上行少納言兼侍從藤原朝臣諸葛等。依式率所司。於西寺綱所。任僧正已下。律師已上十六人。

◇貞觀八年

從五位上 藤原水谷

(三実)正月廿三日庚子。從五位上行侍從兼齋院長官藤原朝臣水谷為安芸權守。侍從如故。

從五位上 藤原諸葛

(三実)三月廿三日己亥。授從五位上行少納言兼侍從藤原朝臣諸葛正五位下。

從五位上 良岑經世

(三実)二月十六日癸酉。遣從五位上行少納言兼侍從良岑朝臣經世。向延曆寺。

從五位下 藤原弘經

(三実)正月十三日庚寅。以散位從五位下藤原朝臣弘經為侍從。

從五位上 藤原水谷

(三実)正月七日甲午。從五位下……侍從兼齋院長官藤原朝臣水谷。……並從五位上。

(三実)元慶七年正月十五日壬午(貞觀)八年遷侍從。十五年遷為讚岐權介。

從五位下 藤原国経

(三実)正月十三日庚寅。侍從從五位下藤原朝臣国経為右兵衛權佐。

◇貞觀七年

從四位上 利基王

(三実)二月十七日己巳。從四位上行侍從利基王等向田邑山陵。

◇貞觀九年

從四位下 興基王

(三実)正月十二日癸丑。散位從四位下興基王為侍從。

從五位上 良岑經世

(三実)五月十六日丙申。從四位上行侍從利基王為下野權守。

從五位上 良岑經世

(三実)正月十一日癸丑。從五位上行少納言兼侍從良岑朝臣經世為陸奥守。

從五位下 源治

(三実)九月五日癸未。遣……從五位上行少納言兼侍從良岑朝臣經世。率所司。向西寺綱所宣制。

從五位上 藤原水谷

(三実)四月十一日庚辰。以從五位上行侍從兼安芸權守藤原朝臣水谷為民部少輔。

從五位下 藤原高範

(三実)正月廿七日己酉。侍從從五位下源朝臣治為因幡權守。
(三実)五月十六日丙申。以散位從五位下藤原朝臣高範。……並為侍從。

從五位上 久須繼王

(三実)正月七日戊申。從五位下……少納言兼侍從久須繼王並從五位上。

從五位下 藤原千乘

〔三夷〕正月十二日癸丑。侍從從五位下藤原朝臣千乘為右少弁。

從四位下 兼善王

〔三夷〕正月廿五日戊寅。散位從四位下源朝臣兼善為侍從。

從五位下 源 加

〔三夷〕二月十一日辛巳。散位從五位下源朝臣加為侍從。

從五位上 和氣彝範

〔三夷〕二月十四日丙申。侍從從四位下兼善王。……賜姓源朝臣。

從五位下 橘 休蔭

〔三夷〕二月十一日辛巳。侍從從五位下橘朝臣休蔭為相模權介。

從五位上 和氣彝範

〔三夷〕七月二日壬子。以從五位上行少納言兼侍從和氣朝臣彝範。為檢河内國水害堤使。

從五位下 春澄具瞻

〔三夷〕四月十七日丙戌。以散位從五位下春澄朝臣具瞻為侍從。

從五位下 藤原弘經

〔三夷〕正月廿五日戊寅。侍從々五位下藤原朝臣弘經為〔加賀〕權守。

◇貞觀十年

從五位上 久須繼王

〔三夷〕九月十一日辛丑。遣從五位上行少納言兼侍從久須繼王。……向伊勢大神宮奉幣。

從五位下 源 湛

〔公・寬平五年尻付〕〔貞觀〕十三十四侍從。〔三夷〕二月十五日丁酉。……侍從從五位下藤原朝臣高範告權列山陵。

從五位下 和氣彝範

〔平九一四五〇〕貞觀十年六月三日治和天皇宣命。宣命使少納言兼行侍從和氣朝臣彝範

◇貞觀十四年

從五位上 和氣彝範

〔三夷〕三月廿三日癸巳。從五位上行少納言兼侍從和氣朝臣彝範為石清水社使。

從五位上 和氣彝範

〔三夷〕正月七日乙丑。從五位下……少納言兼侍從和氣朝臣彝範。……並從五位上。

從五位上 和氣彝範

〔三夷〕五月廿五日甲午。從五位上行少納言兼侍從和氣朝臣彝範……付太政官牒。

◇貞觀十二年

從四位下 興基王

〔三夷〕正月廿五日戊寅。從四位下行侍從興基王為信濃權守。

從五位下 橘 茂生

〔三夷〕二月十日庚子。少納言兼侍從橘朝臣茂生。先是闕衙前。解侍從職。是日有勅。免罪復本。

◎茂生は貞観十二年十一月十七日乙丑条に從五位下とあるので、その位階を掲げた。なお元慶二年条参照。

◇貞観十九年 源 是忠 (公・元慶八年尻付) (貞観十九年正月) 十五日侍從。

◆元慶元年 正五位下 和氣彝範 (三実) 正月三日乙亥。從五位上……少納言兼侍從和氣朝臣彝範。……並正五位下。

從五位下 藤原有穂 (公・寛平五年尻付) (貞観) 十九正三從五下。元慶元四十九聽禁色 (藏人)。十月十八侍從。

◇元慶二年 從五位上 橘 茂生 (三実) 八月十四日丁丑。從五位上行少納言兼侍從橘朝臣茂生為上野介。

從五位下 安倍利行 (三実) 二月十五日辛巳。散位從五位下安倍朝臣利行為侍從。

從五位下 藤原有穂 (三実) 二月十五日辛巳。侍從從五位下藤原朝臣有穂為右衛門權佐。

◇元慶三年 從四位上 源 兼善 (三実) 四月廿五日甲申。從四位上行侍從源朝臣兼善卒。

正五位下 滋野善根 (三実) 十一月廿五日庚辰。從五位上……少納言兼侍從滋野朝臣善根。……並正五位下。

從五位上 藤原清生 (三実) 正月七日丁酉。從五位下……少納言兼侍從藤原朝臣清生。……並從五位上。

從五位上 良岑晨茂 (三実) 十一月廿五日庚辰。從五位下……侍從良岑朝臣晨茂。……並從五位上。

從五位下 橘 春行 (三実) 十月廿三日己卯。……少納言兼侍從從五位下橘朝臣春行於西寺綱所。

◇元慶五年 從四位下 雅望王 (三実) 十二月廿七日辛丑。……侍從從四位下雅望王(乎)差使(天)……奏。

◇元慶六年 從四位下 雅望王 (三実) 六月廿六日丁酉。……從四位下行侍從雅望王。……為右(相撲)司。

從五位上 橘 春行 (三実) 正月七日庚戌。從五位下……少納言兼侍從橘朝臣春行。……並從五位上。

從五位上 源 是忠 (三実) 六月廿六日丁酉。……從五位上……侍從源朝臣是忠。……為左(相撲)司。

從五位上 藤原佐名 (三実) 七月廿八日戊辰。……侍從從五位上藤原朝臣佐名補其(右相撲司)闕。

◇元慶七年

從四位下 滋野善根

〔三実〕正月七日甲戌。正五位下……少納言兼侍從滋野朝臣善根並從四位下。

從五位上 藤原諸房

〔三実〕……五月十二日丁丑。從五位上行少納言兼侍從藤原朝臣諸房。……付太政官牒。

從五位上 橘 春行

〔三実〕十月七日庚子。勅遣……從五位上行少納言兼侍從橘朝臣春行。……向西寺綱所任之。

◇元慶八年

從四位下 源 興扶

〔三実〕正月十九日辛巳。從四位下行侍從源朝臣興扶卒。

從五位上 藤原諸房

〔三実〕二月四日乙未。令……從五位上行少納言兼侍從藤原朝臣諸房。……留守焉。

從五位下 源 洎

〔三実〕三月九日庚午。以散位從五位下源朝臣洎……並為侍從。

從五位下 源 當時

〔三実〕三月九日庚午。以……從五位下源朝臣當時並為侍從。

◆仁和元年

從五位上 橘 春行

〔三実〕二月廿一日丁未。……從五位上行少納言兼侍從橘朝臣春行就版奏請。踏印官符。

從五位上 良岑晨茂

〔三実〕侍從……從五位上良岑朝臣晨茂為肥後權介。

從五位下 令扶王

〔三実〕二月廿日丙午。從五位下令扶王為侍從。

從五位下 藤原良範

〔三実〕四月廿七日辛巳。以從五位下行周防介藤原朝臣良範為侍從。

從五位下 源 當時

〔三実〕四月廿七日辛巳。侍從々五位下源朝臣當時為周防介。

◇仁和二年

從四位下 源 和

〔三実〕二月廿一日辛未。散位從四位下源朝臣和為侍從。

從五位下 源 唱

〔三実〕二月廿一日辛未。侍從從五位下源朝臣唱為中務少輔。

從五位下 藤原恒泉

〔三実〕六月十三日辛酉。從五位下行越前權介藤原朝臣恒泉為侍從。

從五位下 源 道

〔三実〕六月十九日丁卯。信濃守從五位下源朝臣道為侍從。

◇仁和三年

從五位上 大江公幹

〔三実〕正月七日辛巳。從五位下……少納言兼侍從大江朝臣公幹。……並從五位上。

從五位上 橘 春行

〔三実〕二月十七日辛酉。從五位上行少納言兼侍從橘朝臣春行為美作權介。本官如故。

從五位上 藤原諸房

〔三実〕六月十三日乙卯。從五位上行少納言兼侍從藤原朝臣諸房為信濃守。

從五位下 藤原直行

〔三実〕五月十三日丙戌。從五位下行伊勢介藤原朝臣直行為侍從。

侍從補任稿 (笠井純一)

從五位下 源 温 (三夷) 五月十三日丙戌。侍從從五位下源朝臣温為伊

勢介。